

2015年1月14日  
アンスティチュ・フランセ東京

先端映像表現とデジタル・カルチャーのフェスティバル  
第4回「デジタル・ショック」 - リアルのファクトリー 開催



アンスティチュ・フランセ東京は、2月13日（金）から3月22日（日）、「第4回 デジタル・ショック」を開催いたします。日本とフランスの最先端デジタル・カルチャーを紹介するこのフェスティバルでは、アンスティチュ・フランセ東京および都内複数ヶ所と京都の会場で、メディアアートの展示やライブ・コンサート、討論会などを行います。

第4回目を迎える2015年のテーマは、「リアル・ファクトリー」です。最近特に発展の著しい3D印刷やヴァーチャル・リアリティーなどの技術から、どのように「新たなリアル（現実）」が造り出されているのか、その多様かつ斬新なアプローチを選びすぐてご紹介します。アートやゲームにとどまらず、生命や身体、医療などにも影響を及ぼし始めているデジタル・クリエーションは、社会におけるデジタル技術の展望をより広い視野で私たちに見せてくれるでしょう。

＊平成26年度 [第18回]文化庁メディア芸術祭協賛事業

【イベント開催概要】

日時 | 2015年2月13日（金）～3月22日（日）

会場 | アンスティチュ・フランセ東京、SuperDeluxe、東京大学、京都芸術センター、他

主催 | アンスティチュ・フランセ日本 助成 | アンスティチュ・フランセ パリ本部

協力 | 全日本空輸株式会社、ビューロー・エクスポート、東京アニメアワードフェスティバル、Moving Festival、レッドブル・ミュージック・アカデミー

Web | <http://www.institutfrancais.jp/tokyo/events-manager/digital-choc-2015-la-fabrique-du-reel/>

【組織概要】

組織名：アンスティチュ・フランセ東京 Institut français du Japon - Tokyo

所在地：〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町15（飯田橋駅 JR西口より7分・地下鉄B3出口より7分）

代表者：館長 ジャン＝ジャック・ガルニエ

主な事業内容：語学学校・文化センター（フランス政府公式機関）

代表 TEL：03-5206-2500 代表 Email：[tokyo@institutfrancais.jp](mailto:tokyo@institutfrancais.jp)

URL：<http://www.institutfrancais.jp/tokyo/> Facebook：<https://www.facebook.com/IFJTokyo>

【主なプログラム】 \* 詳細の全プログラムを掲載したパンフレットは1月末に発行の予定です。

■オープニング・レセプション

[カクテルパーティー / DJセット]

2月13日 (金) 19:30～ アンスティチュ・フランセ東京 ラ・プラスリー 入場自由・無料

■<レッドブル・ミュージック・アカデミー x デジタル・ショック 共同イベント>

「Arigatô Tokyo, Bonjour Paris」～ エジプトロジー・セレクション

[ライブ]

2月14日(土) 19:30～ SuperDeluxe (東京・六本木) 一般 2,300円、会員・学生:1,800円

今、最も注目を集める気鋭のフランス・エレクトロニック・ミュージック・グループ EGYPTOLOGYと、彼らがセレクトした日本人ミュージシャンたちによるスペシャルライブが開催されます。

2014年秋、東京中で音楽が奏でられたこともまだ記憶に新しい、若く才能溢れるアーティストたちを支援する世界的な音楽学校「レッドブル・ミュージック・アカデミー」が今年パリにバトンをつなぐことを受け、レッドブル・ミュージック・アカデミー x デジタル・ショック共同でのワークショップ&イベントを開催することが決定しました。

EGYPTOLOGYをはじめ、ここ数年で最もジャンルレスに活動をしているバンド、ポアダムスの元メンバー千住宗臣や中原昌也(HAIR STYLISTICS)、オオルタイチ、CRYSTAL、そして日本を代表する電子音楽家、青木孝允ら、才能溢れるミュージシャンたちが西麻布SUPERDELUXEにて出演。「RED BULL MUSIC ACADEMY PARIS 2015」の応募詳細についてもお話します。

(応募期限: 2015年1月21日(水)～3月4日(水)) [HTTP://WWW.REDBULLMUSICACADEMY.JP](http://www.redbullmusicacademy.jp)



■イロ「トリアングル・イラシブル」

[パフォーマンス・ワークショップ]

2月20日(金) 19:00～ アンスティチュ・フランセ東京 エスパス・イマージュ

2月22日(日) 18:30～ 京都芸術センター(映像芸術祭「MOVING 2015」)

※ 2月19日(木)14:00～17:00 ワークショップ(参加料:1,000円)

料金|一般2,000円、会員・学生1,000円

「トリアングル・イラシブル(苛立ちやすい三角形)」では、アーティスト・イロが舞台上で、彼自身がプログラミングしたソフトに繋いだビデオカメラの前に写真をかざしていき、そのイマージュがライブで「再撮影」・制作されます。自分で撮った写真も家族のアルバムから取り出してきた写真も、奇妙に不確かになり、遠のき、同時に親密なものになっていきます。



■「健康、ハンディキャップ、高齢化、脆弱さ:新たな技術と拡大する人間性」

[討論会]

2月27日(金) 18:30～20:30 東京大学 パネリスト:エレヌ・ミアレ 入場無料

身体の限界、老齢化、ハンディキャップ、人間の脆弱さに直面した時、新たな技術に何ができるのでしょうか?人間と非人間なるものが混ざり合う、機械による人間性の延長と「拡大した体」(エレヌ・ミアレ)の未来をどのように考えればよいのでしょうか?人体と機械が交じり合った、超人間の未来の姿とは、そしてその夢と幻想について、ユートピアと現実、哲学と科学の只中に身を置いて日仏のパネリストが意見を交わします。



■ビデオゲーム展:リアルファクトリー/キュレーション:ラ・プレーヌ・イマージュ [インスタレーション]

2月13日(金)～3月22日(日) アンスティチュ・フランセ東京 入場無料

※2月14日(土)14:00～ 内沢ローリング、水口哲也、シモン・バシュリエ、バルタザール・オキシエートルによる講演会あり

この展示シリーズでは、フランス、ノール＝パド＝カレーのトゥールコワンにある、デジタル映像とデジタル・クリエイティブ産業に捧げられた施設「ラ・プレーヌ・イマージュ」とのコラボレーションのもと、フランスと日本のそれぞれの文化をよく表しているビデオゲームを選んで紹介します。ビデオゲームという視点を通して、日仏の文化と社会、ひいては私たちの新たなリアル(現実)の把握の仕方が浮かび上がってきます。



フェスティバル「デジタル・ショック」 & 国際ビエンナーレ「可能世界のクロニクル」賞  
参加プロジェクト募集のお知らせ

フェスティバル「デジタル・ショック」は、メディアアートにおける若き才能の発掘のため、フランスのアート組織「ZINC」と「Seconde Nature」と共同で、メディアアートのプロジェクトを募集します。

応募には日本国籍であることと、35歳以下であることが条件で、プロジェクト企画書をもとに選考委員会が1名を選定し、受賞者には2015年8月1日から9月30日の期間、フランス・マルセイユにあるアート施設「ラ・フリッシュ・ベル・ドゥ・メ (La Friche Belle de Mai)」に滞在し、作品を制作する権利が与えられます。滞在中に制作された作品は、2015年9月24日から11月22日に開催される国際ビエンナーレ「可能世界のクロニクル」にて展示されます。

国際ビエンナーレ「可能世界のクロニクル 2015」のテーマは「私たちはまだモデルに沿って作品を作るのだろうか?」です。たくさんのご応募をお待ちしております。

- ・応募開始日：2015年2月13日(金)～
- ・詳細の募集要項は2月以降下記のサイトでご確認ください。

<http://prixdigitalchoc.secondenature.org>

【 ニュースリリースに関するお問い合わせ 】

アンスティチュ・フランセ東京 広報&メセナ 山下 沙耶佳

TEL : 03-5206-2552 (直通) FAX : 03-5206-2861 Email : [sayaka.yamashita@institutfrancais.jp](mailto:sayaka.yamashita@institutfrancais.jp)

※広報用画像をご希望の場合は上記担当者までお問い合わせください。